

公募審査(採択)結果の公表

令和5年8月4日
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室

事業名: 令和5年度流通・物流の効率化・付加価値創出に係る基盤構築事業(物流施設における協働ロボットの効果的な活用事例の創出)

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
三菱HCキャピタル株式会社	4010001049866	70,000,000円

(提案事業者名)

①三菱HCキャピタル株式会社

(審査委員属性)

大学教授
大学名誉教授
大学名誉教授
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
三菱HCキャピタル株式会社	122/150	106/150	105/150	333/450

提案事業者名	必須事項	事業目的達成のための分析と課題設定ができていますか	実施スケジュールの合理性・妥当性	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか	合計
三菱HCキャピタル株式会社	適	33	89	54	56	47	24	30	333

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
三菱HCキャピタル株式会社	・公募の趣旨にあった良い提案であり、人とロボットの協働で様々な検討がなされている。この結果は公開されるべきで、他の企業にも機械化を検討する際に大いに参考になるだろう。ただし再委託の費用がかなり高額になっている点が気になる。 ・ピッキングロボットは数年前より日本や海外で様々な研究が進められている。エアで対象物を保持するものや、その他のアイデアも様々に試されている。対象物も柔らかいものやフィルムで包まれているものなど、ピックしにくいものや、ピック後に丁寧に配置する方法なども様々なものがある。こうした他の類似技術との比較がこの事業には必須であろう。 ・家電量販店物流センターを用いての検証については十分な記述／事前検討がなされていると拝見。他ユースケースへの展開の部分で、本実証とは異なる オーダー特性、SKU、前後の設備、棚からの出庫、再入庫などの条件をどこまで考慮するのが十分に読み取れない。実証が家電量販店における改善のみになってしまうのではいかとの懸念を多少感じます。